

金山町の未来を考える 新庄南高金山校 模擬議会

高校生がまちづくりを考え参政権を有する意義を考えることを目的に、今回で4回目となる新庄南高金山校の生徒による模擬議会が12月22日、役場町民ホールを会場に開催されました。三上美帆議長のもと、7名の高校生議員が、町の課題を的確に捉え、高校生らしいフレッシュな目線で町執行部に質問しました。



小野 樹生 議員 (2年)

Q

【金山町のPR動画作成について】
PR動画を作成し、視聴していただいた方々へ特産品を贈ることは可能か。

A

町のPR動画作成は若い世代や観光客へ金山町をアピールするうえで非常に効果的なツールだと考えている。そこで町では、令和元年度に町のPR動画を作成し、マルコの蔵のテレビで常時リピートして放映している。また、視聴してくれた方を特定し特産品を贈ることは一般的ではないと考えられるため、インスタグラムなどを活用しハッシュタグをつけることでの割引事業を実施したり、金山校の皆さんが町をPRするハッシュタグを作り、写真を活用し町をPRすることなどが有効だと考えられる。

Q

【高校生選挙の可能性について】
高校生が実際の投票とは別の「模擬選挙」はできないか。また、住所を移していない若者のため不在者投票の改革などの可能性はあるか。

A

選挙は公職選挙法で細部にわたり規定されており、選挙事務は絶対にミスが許されないことや公職選挙法に抵触しないようにしなければならぬため、金山校で隔年で実施している「模擬投票」を毎年行うなどで選挙の意識付けをしてはどうか。また、住民基本法上、住所を移転する場合は、住民票を移転先に移動することが基本となっている。そうすれば、住所地の選挙人名簿に登録され、そこで通常の投票または期日前投票ができることになる。



三條 輝 議員 (1年)

Q

【東北中央道路と道の駅について】
金山町に「道の駅」を作り、デザイン等に高校生や東北芸工大生が関わることは可能か。

A

【金山町高規格道路供用開始に向けた交流人口拡大方策検討委員会】において検討を進めており町民の皆様からも道の駅整備における採算性や民間運営に関するご意見を数多くいただいている。道の駅を整備することになる場合は「ここにしかない」ことでしかない」といった強みを持たせ、経営黒字を確保できるような施設にすることが必須である。また、若者の感性を活かした建築デザインや整備構想などを、建築デザイン系の学生や金山校のみなさんからアイデアをいただくとこの方法は有意義なものであると考える。



柿崎 翔太 議員 (2年)

Q

【図書館施設等の充実について】
金山町に大きな図書館をつくる、または現在ある図書館を充実させることはできるか。

A

町では中央公民館を新たに建設する計画で基本設計まで進めてきたが、財政状況が厳しいため、建設を断念した経緯がある。そのため新しい図書館の建設の計画はない。しかし、施設の老朽化や耐震基準を満たしていないことから、中央公民館の機能を他の公共施設に移転する検討を行っている。移転する施設に図書室機能を持たせることも検討している。町民が利用しやすいような雰囲気がある図書室への改装や、有効に利用されるように小中高生の皆さんの意見を伺うことは可能だと考える。



佐藤 妃奈 議員 (1年)

Q

【金山校支援の充実を望む】
高校生が放課後や休日などに勉強したり本を読んだりできるスペースはないか。金山校存続のため検討している支援はあるか。

A

現在、中央公民館を他の施設に移転することで検討が行われており、「学習スペース」や「雑談可能スペース」のあり方についても、多額な改修経費をかけることなく、既存の公共施設を有効活用していくことで検討している。また、今年度から「新南金山校魅力化コーデイナー」を配置し、高校の魅力化向上や地域の活性化を目指し、入学者の確保につながるよう努力している。高校生の目線で地元の良い点を再発見し、新南金山校の活性化につながるサークル活動等を県内外に広く発信していくことを検討している。

A

【神室スキー場の展望について】
神室スキー場の営業時間短縮、リフト料金の無料化や引き下げによる運営改善を提案する。今後の運営方針は。

Q

営業時間を短縮すると経費は削減される反面、収入も減ることになる。これまで料金金を値下げし無料サービスなどを行ってきたが増収にはつながりなかったと評価している。運営には多大な経費がかかっているが、金山町の財政規模では、予算をねん出することは非常に苦しい状況になってきている。グリーンバレー神室一帯のあり方については現在検討委員会を発足し、現在議論している。最終的な結論は、秋頃を目標に示す予定である。町民の皆さんからご意見をいただきたいと考えている。



柴田 佳羽 議員 (2年)

Q

【金山杉を活用した遊具の充実】
金山杉を使った遊具を認定子ども園等で活用してはどうか。また、マルコの蔵で金山杉の積み木など販売することはできるか。

A

認定子ども園では、現在も木製の遊具をふんだんに使っている。その中には金山杉の物もあるが新たな物の導入については、安全性など様々な観点から検討が必要のため、園と十分相談のうえ、導入するか判断したい。マルコの蔵での商品の販売は、指定管理を受託しているグリーンバレー神室振興公社が行っており、出品申し込みを経て販売の可否が決定される。すでに町内の業者が木工品を出品しているため、企業への提案も実現のためのひとつの案となると思われるので、高校生発案の実現を期待している。



長沼 星空 議員 (1年)